

地域安全ニュース

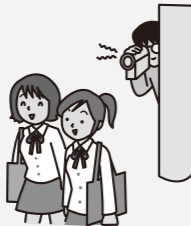
池田地区防犯協会
池田警察署 572-0110
みんなでつくり
安心の街

みんなでつくり 安心の街

子ども・女性の犯罪被害防止

見通しの悪い場所や夜間暗い場所など、地域の危険な場所を確認しましょう。

通学路や公園などは子どもと一緒に確認し、「こども110番の家」なども合わせて確認しておきましょう。また、通勤ルートは明るく人通りの多い道を選び、携帯電話を操作しながらの通行はやめましょう。



もしもの時に備えて、ランドセルやカバンなど、相手から見えやすく自分から手に届く場所に優良な「防犯ブザー」をつけましょう。

子どもたちの登下校に合わせて、道路の清掃、庭の手入れ、買い物など普段の生活を通じた「ながら見守り」に努めましょう。

大声で 叫ぶ勇気が 身を守る

(平成29年度標語コンクール金賞作品)

住宅を対象とした侵入犯防止

お出かけは、一声かけて、カギかけて。

日頃から地域の人とコミュニケーションをとり、不審者防止のため、知らない人には積極的に「こんにちは」などと声をかけましょう。

外出時には、わずかな時間でも必ず鍵をかけましょう。また玄関ドアをツーロックにしたり、窓に防犯フィルムを貼るなど、防犯設備を充実しましょう。例年、日没が早くなる時期・繁忙時期は、付きまとい・窃盗・悪質訪問販売が多くなっています。

特殊詐欺防止

電話でお金の話は、詐欺を疑おう

息子や孫をかたり、「会社の書類が入ったカバンをなくした」「会社の金を使い込んでしまった」「人妻を妊娠させてしまった」などというトラブル解決名目で、お金を要求してくる詐欺が多発しています。

電話でお金のお話が出たら、一旦冷静になり、まず家族や警察に相談しましょう。

また在宅中でも留守番電話に設定したり、迷惑電話をブロックする機能や警告・録音機能付きの防犯対策機器等を有効に利用しましょう。

駐在だより
はるにれ
～みんなで作ろう 安全で安心な大地～
http://www.ikedaya-police.pref.hokkaido.jp

池田警察署 572-0110
茂岩駐在所 574-2013
豊頃駐在所 574-2151
大津駐在所 575-2002
作成：齋藤 敦雄

冬の交通安全運動実施

11月11日(土)から11月20日(月)までの10日間

- **高齢者の交通事故防止**
外出するときはドライバーの目につくように明るい服装を心がけ、反射材を身につけましょう。
- **凍結路面等のスリップによる交通事故防止**
早めに冬用タイヤに交換して、急な降雪や凍結路面に対応できるように準備しましょう。
- **飲酒運転の根絶**
飲酒運転は悪質な犯罪です。「飲酒運転を、しない・させない・ゆるさない」を合言葉に、北海道から飲酒運転をなくしましょう。

「オレオレ詐欺」注意してください

詐欺を見破るポイント

息子を名乗る者が…



携帯番号が変わっている！

携帯電話をこわした・携帯電話をなくした

どこの調子が悪い！

のどが痛くて病院に来た・ポリープができた

トラブルに巻き込まれている！

会社のお金をなくした・お金がないとクビになる

このような電話で現金を要求されたら詐欺を疑いましょう！

女性を暴力事案から守ろう

ストーカーや配偶者、交際相手からの暴力で悩んでいませんか。

「恥ずかしい」「大げさにしたくない」と一人で抱え込まず、事が大きくなる前にできるだけ早く相談しましょう。

警察では被害を拡大させないために、相手に対する警告、禁止命令、検挙等の措置、被害者を保護するための一時避難などの支援措置をとるほか、緊急通報装置の貸与も行っています。

密漁は犯罪です

例年この時期、サケの遡上に伴い、密漁をする人がいます。密漁をする人を見かけたら、すぐ警察に通報してください。

新しい「まごころ通信員」を紹介



高齢者に寄り添える通信員に

10月1日から、佐藤規夫さん(患者輸送車の運行業務兼務)、谷口隆子さんのお二人が、新しく「まごころ通信員」として勤務されることになりました。

女性の通信員は初めてということで、谷口さんは穏やかな口調で「女性同士だからこそ、分かり合えることもあると思う。信頼関係を築くことが第一。まずはこちらを知ってもらって、ゆつくりと絆を深められたら」と話され、対応する方々への思いやりのある配慮をしていきたいと意欲を語りました。

まごころ通信員とは

高齢者の単身者住宅などを定期的に訪れ、安否確認はもちろん、対象者の心配ごとを聞くことで不安解消を促したり、困りごとを解決するために関係機関につなぐ役割をするなど、見守るだけではなく一歩踏み込んだかたちで関わっていくのが「まごころ通信員」の役目です。

豊頃町では現在、96世帯の高齢者宅へまごころを込めた訪問を行っています。

まごころ通信員はこうした高齢者の生活の支援をする重要な任務となります。

弾道ミサイル落下時の行動について



Jアラート (例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難して下さい。

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、**落ち着いて行動してください。**



● **屋外にいる場合**: 口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

● **屋内にいる場合**: 換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。

メッセージが流れたら **落ち着いて、直ちに行動してください。**

屋外にいる場合 **近くの建物の中か地下に避難。**

(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。

建物がない場合 **物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。**

屋内にいる場合 **窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。**

詳しい情報については国民保護ポータルサイト <http://kokuminhogo.go.jp/> をご覧ください